

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和4年2月4日（金）10時35分～11時40分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

新井安全審査官、高木係長、横山係長、高木技術参与

知見主任安全審査官、高松専門職（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

木村原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当11名（テレビ会議システムによる出席）

## 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
  - 千島海溝津波対策として陸側遮水壁ブライン配管に設置した電動弁に係る現地動作試験の実施について
    - ✓ 千島海溝津波の襲来により、ブライン配管の破断によるブラインの大量漏えい・凍結運転の継続困難とならないように電動弁の設置をしているところ、電動弁の試験が一部未実施であることから、未実施箇所の単体動作試験及び統合動作試験（以下「動作試験」という。）を実施する予定である。
    - ✓ 動作試験を実施するにあたり、試験的に7BLK-H2のブライン供給を動作試験と同時間停止し、測温管150-7Sの温度変化に及ぼす影響を確認するための影響確認試験を実施する。影響確認試験の結果を踏まえ、動作試験の実施可否を判断する。
    - ✓ 影響確認試験は、本年2月8日に実施し、動作試験の実施が可能と判断した場合は、動作試験を2月15日に実施する予定である。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を行った。
  - 千島海溝津波の襲来に備えた電動弁の設置にかかる動作試験の実施について、本件の経緯や電動弁の機能等の詳細を影響確認試験及び動作試験の結果と併せて、今後、説明すること。

## 6. その他

資料：

- 汚染水対策スケジュール（2022年1月27日現在）
- 水処理設備の運転状況、運転計画（2022年1月21日～2022年2月17日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2022年1月21日～2022年2月3日）
- 各エリア別タンク一覧
- 汚染水等構内溜まり水の状況（2022.1.20時点）
- 福島第一原子力発電所における固体廃棄物について
- 【津波対策】陸側遮水壁ブライン配管用電動弁設置 現地動作試験について

以上